委託

Manga International Network Team（MINT）（実施団体:一般財団法人 出版文化産業振興財団(JPIC)）

目的・目標

マンガ家や編集者が海外展開を見据えた活動に自ら挑戦できるように支援することで、一部のアニメ化され人気を博しているマンガだけではない、日本の多様なマンガコンテンツの世界的認知と価値を高め、ふさわしい批評的評価を得ることを目的とする。

概要

海外展開を希望するキャリアの浅いマンガ家や編集者に、マンガ専門家等から成るアドバイザーが定期的なレクチャーや面談を通して、海外展開に向けたアドバイスやノウハウを提供。その後、海外マンガ関連イベント等への参加、展示会やワークショップの開催、海外出版社からの作品出版等を支援し、これらの経験を通して海外で活躍できるマンガ家・編集者を育成していく。

（分野・ジャンル）
メディア芸術(マンガ)

（渡航先の国・地域）
・LA/OHIO(米国)(2025-26年)

（国内外の連携・協力体制）
・出版業界及び海外有識者とのネットワーク

3年目までの取組

初年度は、選出した育成対象者（マンガ家・編集者）に対し、国内外のアドバイザーによる講義や面談などの育成プログラムを通じて伴走支援を行う。2～3年目はアメリカのマンガ関連イベント登壇や展示会、ワークショップ等を開催し、海外での認知と評価の向上を目指す。3年目は海外展開後のフォローアップや自走をサポート。各年度末には成果発表会とシンポジウムを開催し、一般の方にも当事業の内容を知らせていく。

5年目までの取組

育成対象者作品の認知が海外で高まった中で、海外出版社からの作品出版や、国際的なマンガ賞の受賞等を目指す。一方、国内でも、海外進出を支援する編集者や海外コーディネーターが活躍できるよう、海外出版社との交渉や図書館との連携、広報イベントや講演会等の活動をサポートする。また、海外展開ノウハウをパッケージ化し、マンガ家や編集者を目指す次世代の人材に共有できるよう、教育現場等での活用を目指す。

成果目標（見込）	目標値
企画段階から海外公演等までに登用される若手クリエイター等の数	10人
国内外の団体・企業等との連携数（連携団体数、事業提携数、拠点形成数など）	10件
プロジェクトに関わる海外アーティスト・キュレーター等の数	5人
国内外で展開される公演・展示等の数	5回
国内外で展開される公演・展示等の入場者数	2,500人

中核となるクリエイターやアドバイザー

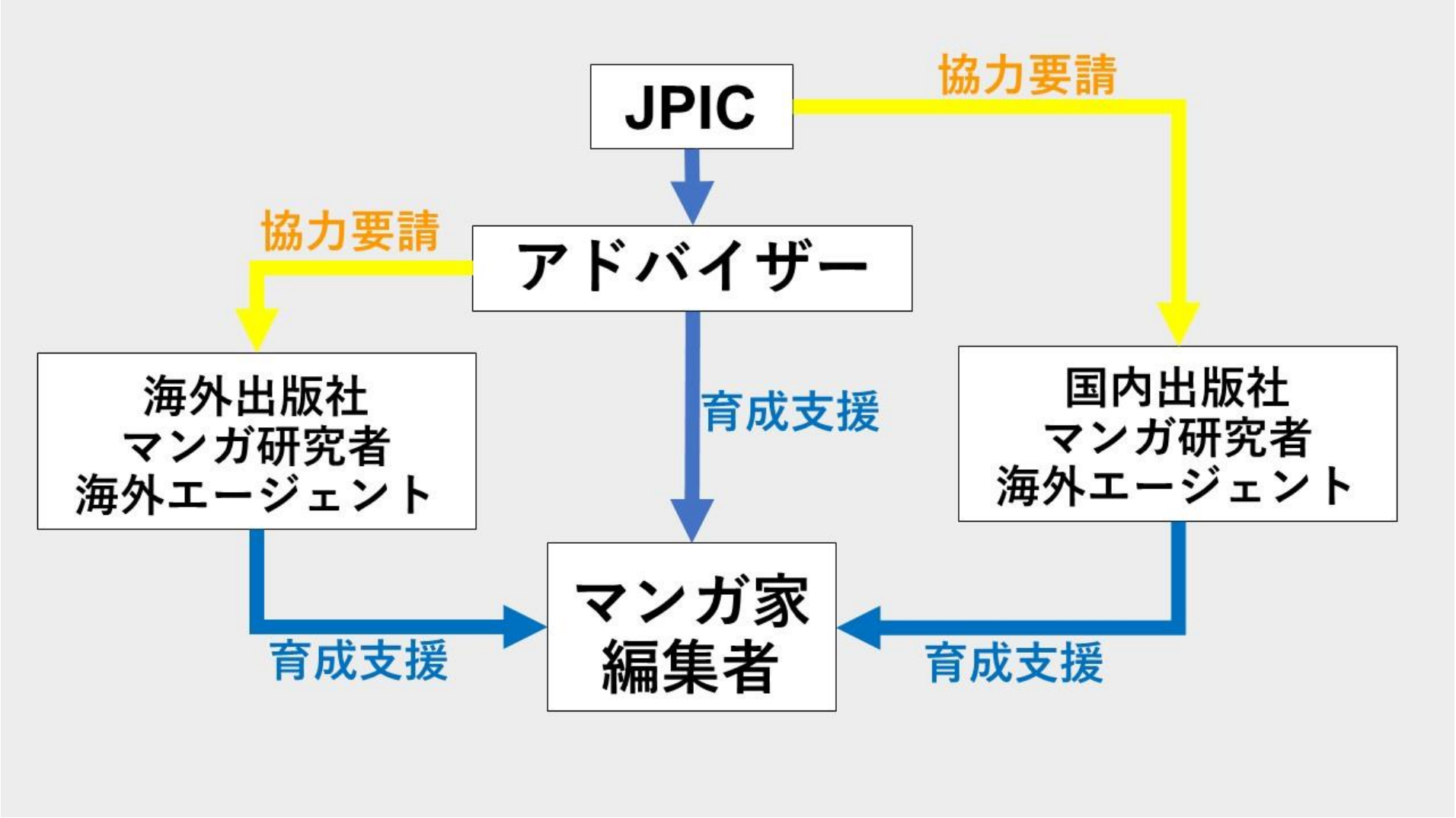
デブ・アオキ　(Deb Aoki)
版権ビジネスや米マンガ動向にも精通している日本マンガ批評家兼ライター。マンガ家の個性に合わせたサポートを行う。

小田切 博(おだぎり ひろし)
フリーライター、マンガ研究家。世界各国のマンガ文化に詳しくアメリカのコミック市場にも精通する。

育成対象者：10人

アドバイザーや日本の出版社からの推薦を得て、国内で単行本1冊以上を商業出版しているマンガ家と編集者を、選考委員会にて選定。

【補足資料】


JPIC
協力要請
協力要請
アドバイザー
育成支援
海外出版社
マンガ研究者
海外エージェント
国内出版社
マンガ研究者
海外エージェント
マンガ家
編集者
育成支援
育成支援